

2022年7月28日

会員の皆様、

安倍元首相のご逝去に、心よりお悔やみ申し上げます。安倍元首相はブラジルにとって非常に重要な人物であり、2014年のサンパウロ訪問時には、日本と中南米諸国との協力強化に向けた「プログレジール・ジュントス（発展を共に）、リデラール・ジュントス（主導力を共に）、インスピラール・ジュントス（啓発を共に）」という「juntos（ジュントス=「共に」の意）」精神に基づく外交理念を発表しました。その時のスピーチ全文（ポルトガル語）は外務省のホームページに公開されています（<https://www.mofa.go.jp/files/000047651.pdf>）。今後も日本とブラジルが共に歩み続けることを願います。

今年は厳しい暑さの夏となりましたが、新型コロナウイルス感染防止対策を引き続き徹底していく必要があります。

今号では、在東京ブラジル総領事館のギリェルメ・デ・アギアール・パトリオッタ総領事に日本国内の生産活動における在日ブラジル人コミュニティの重要性についてご寄稿いただきました。

産業関連では、ブラジル国内5800箇所に工場を持つブラジルの自動車産業を紹介するブラジル全国工業連盟（CNI）作成の動画に関する記事を掲載しました。

今年大統領選挙が開催されるブラジルでは、選挙活動の資金集めにクラウドファンディングの活用が法律で認められています。また輸入品の関税引き下げに関する記事も掲載しましたので是非ご覧ください。

それではどうぞよろしく申し上げます。

CCBJ会頭

行徳セルソ

(寄稿)

ギリェルメ・デ・アギアール・パトリオッタ在東京ブラジル総領事からのメッセージ

ブラジルと日本は、数多くの絆によって結ばれています。2021年の両国の貿易額は約106億米ドルでしたが、この数字は日本とブラジルをつなぐ100年以上の歴史の全容を表すものではありません。

過去30年の間に在日ブラジル人の数は30万人を突破したこともありました。現在も20万6000人の同胞が日本で暮らしており、パンデミック克服後に経済が回復すれば、在日ブラジル人コミュニティは再び成長し繁栄するでしょう。両国間の貿易は、ブラジルに移住した日本人の経験や日系ブラジル人の来日を基礎とする驚くべきヒューマンストーリーと切り離せないものです。

在日ブラジル人コミュニティは生産性が高く、13万5000人の男女や若者（外国人労働者全体の7.8%、在日ブラジル人総数の65%）が製造業に従事しています。この労働力は、高齢化と人材不足という日本の現状の中で際立った存在です。同時に、その影響はブラジルの国際収支にもプラスに働いています。日本はブラジルへの送金の主要供給源の一つであり、2021年の送金額は7800万米ドルでした。

在日ブラジル人コミュニティは活動的でもあります。地域の経済界で一定の地位を築き、成功を収めた零細企業や中小企業のブラジル人経営者もいます。鉱業や金属機械、食品といった規模の経済性が高い分野で、ブラジルと日本の大企業間の取引とは別に、確固とした付加価値を生みだしています。ブラジルでも日本でも、起業の重要性に疑問の余地はなく、それはOECDのデータでも裏付けられています。零細・中小企業は、日本で操業中の企業の99%を占め、労働力の70%を雇用し、製造業における付加価値の50%に貢献しています。

このような状況の中で、約1500人のブラジル人起業家が日本で活躍しています。分類方法によっては、この数はさらに大きくなる可能性もあります。人材、教育、イベント、観光、食品、金融、農業をはじめとする多くの分野でブラジル人起業家が事業を展開しています。私自身も経営者と接する中で、ブラジル人ならではの粘り強さとプロ意識によって、移住者の郷愁に訴えるビジネスの範囲を超えて、日本人消費者の心を掴むようになってきていると実感しています。

ブラジル領事館として最大級の規模を持つ在東京ブラジル総領事館のトップに立ち、この管轄区域内の活気あるブラジル人コミュニティのために奉仕できることを光栄に思います。CCBJへのサポートを通じてブラジルと日本を結ぶさまざまな絆を大切にするため、CCBJならびに会員の皆様のお役に立てるよう、職員一同精進していく所存です。

(経済)

ブラジル貿易審議会 輸入品**13**品目の関税引き下げ

ブラジル貿易審議会（CAMEX）は、輸入品13品目の関税を引き下げました。9品目の税率が0%となったほか、3品目の税率が2%に、1品目は6.5%に引き下げられました。今回関税引き下げの対象となったのは、医薬品や医療機器、書籍印刷用インク、コンタクトレンズ、ビールの原料として使われるホップ、ポリプロピレン樹脂など。

乳がん、卵巣がん、前立腺がんの治療薬として使用されているオラパリブを配合した医薬品や、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の治療に有効な気管支拡張剤「チオトロピウム臭化物水和物」や「オロダテロール塩酸塩」を含む医薬品の輸入にかかる関税が0%となりました。

詳細はこちら: <https://agenciabrasil.ebc.com.br/economia/noticia/2022-07/camex-reduz-imposto-de-importacao-de-13-produtos>

出所：アジェンシア・ブラジル通信社

クラウドファンディングで選挙運動資金調達

今年のブラジルの選挙では、クラウドファンディングによる選挙運動の資金集めが実施されます。ブラジルでは2017年の選挙制度改革で選挙活動用の資金調達にクラウドファンディングの活用が認められ、2018年の総選挙と2020年の地方選挙で実施されました。今回で3度目となります。2017年の選挙制度改革では、企業からの候補者への寄付は禁じられました。そのため個人献金や選挙運動特別基金からの資金（今年予算は49億リアル）とともに、クラウドファンディングが選挙資金集めのための重要なツールとなっています。

詳細はこちら：<https://www.tse.jus.br/legislacao/compilada/res/2019/resolucao-no-23-607-de-17-de-dezembro-de-2019>

出所：アジェンシア・ブラジル通信社

ブラジル全国工業連盟 自動車産業に関する動画を公開

ブラジルの自動車産業は国内5800以上の工場ですべて約41万2000人の労働者を雇用しています。研究調査への投資額が最も多い産業であり、国内で製造される車の12%は輸出されています。自動車や大型トレーラー、車体のほかにも、小型トラックやSUV、部品、アクセサリ、電気電子機器、シート、シートパッドなども製造しています。

詳細はこちら：<https://www.youtube.com/watch?v=4-2UJTeF86s>

出所：ブラジル全国工業連盟（CNI）

次号のニュースレターは9月号となります。